

ごあいさつ

三条信用金庫は令和3年3月5日に、創立120周年を迎えました。

明治34年3月に産業組合法に基づく「有限責任三條成産信用組合」として設立し、以来120年の年月を重ねてまいりました。これもひとえに、会員をはじめ地域の皆さまの永年にわたる温かいご愛顧とご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

これまでの歩みは、決して平坦なものではなく、大正初期の苦境時代をはじめ、2度の大戦や、オイルショック、円高不況、バブル崩壊、リーマンショックなど、数次にわたる難局を乗り越えてまいりました。

昨年発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は、当金庫だけでなく、地域経済にも深刻な影響を及ぼしており、景気が大きく落ち込みました。とりわけ当金庫のお取引先である中小企業の多くは、売り上げ減少など、多大な影響を受けております。

今こそ、お客さまに寄り添い、課題解決のお手伝いをしていくことが、信用金庫の存在意義であると考えております。当金庫の未来は地域とともにあります。そのために、お客さまとのリレーションシップを大事にし、地域に根ざした協同組織金融機関として、お客さまと地域が抱える課題解決に努め、地域社会全体の発展に貢献してまいります。

今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三条信用金庫
理事長 西瀉精一